

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【公開番号】特開 2005-58230 (P2005-58230A)
 【公開日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-010
 【出願番号】特願 2004-225759 (P2004-225759)
 【国際特許分類】

A 2 4 F 15/12 (2006.01)

B 6 5 D 5/66 (2006.01)

B 6 5 D 85/10 (2006.01)

【F I】

A 2 4 F 15/12

B 6 5 D 5/66 3 2 1 B

B 6 5 D 85/10

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 7 月 25 日 (2007.7.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 4】

また、蓋用ヒンジが小側壁上又は頂端壁上に形成されて横断方向短縁に平行である、硬質でヒンジ式蓋付きの紙巻きタバコ小包体も提案されている。市場で広範に流通してはいないが、この構造は消費者に人気があるようである。横断方向短縁に平行な蓋用ヒンジを有する小包体は、例えば米国特許第 5 9 5 7 2 8 0 号公報、国際公開第 9 9 / 3 5 0 5 6 号パンフレット、米国特許第 2 8 4 8 1 5 3 号公報、米国特許第 3 4 4 6 3 3 8 号公報、米国特許第 2 9 4 4 7 2 6 号明細書及び独国特許出願公開第 2 9 4 0 4 2 1 号公報に記載されているように公知である。しかしながら、このような小包体は、特別に構成された包装機械でもって製造されなければならない、又は横断方向長縁に平行な蓋用ヒンジを有する硬質の紙巻きタバコ小包体を製造すべく構成された現行の包装機械を大幅に変更する必要がある。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 8】

さらに、本発明によれば、請求項 2 2 に記載されるような、タバコ商品のヒンジ式蓋付き硬質パッケージが提供される。